

令和3年度事業報告

I 概況

本県農業の担い手の確保育成・支援を目的として、就農希望者や青年農業者等に対する助成事業、就農・就業相談活動に取り組みました。

財政及び運営面については、基本財産を維持し、国債等の利子により一定の収益を確保していますが、運用益の増収は見込めない状況にあります。そのような中で、県事業の補助金増額や国事業の受託の継続により、担い手支援の充実を図ることができました。しかしながら赤字決算が継続していることから、公益法人として収支相償の原則に則った一層慎重な運営が必要となっています。

助成事業については、助成対象者数、助成金額を大幅に見直しましたが、概ね計画どおりの申請があり、独立就農を目指す研修生や青年農業者等への支援により一定の評価を得ることができました。自主事業である就農・就業相談活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じた上で9月に「長野県市町村・JA合同就農相談会」を開催しましたが、1月開催予定の「長野県農業法人等就業フェア」は中止としました。また、オンラインでの相談会を増やし、往来自粛下における相談者のニーズに応えると共に、相談内容の充実に努めました。さらに、コロナ禍における農業者への支援として、令和2年度に引き続き農林水産省の「農業労働力確保緊急支援事業」における県の相談窓口業務を受託し、当事業の周知や代行申請等に携わりました。

令和3年度に実施した事業は以下のとおりです。

II 事業内容

1 助成事業

(1) 就農相談会参加費助成

当基金の構成団体で、県外で開催される有料の就農相談会への参加経費として、7団体・7件に対し210千円を助成した。

(2) 団体研修独立費助成

市町村もしくはJA等が研修・指導に必要な機械等を自ら取得し、研修終了後それらを必要とする研修生に譲渡する経費として、4団体の10人に対し2,965千円を助成した。

(3) 先進的経営体等における研修費助成

新規就農里親研修及び市町村、市町村公社、JA、JA出資法人が実施する研修の研修生8人に対し3,600千円を助成した。

(4) 親元就農者支援助成

親の農業経営を引き継ぐために親元就農した9人に対し2,700千円を助成した。

(5) 農業青年の組織活動に対する助成

農業青年組織の自主的な学習活動を助長するため、市町村単位の農業青年クラブ14組織に対して675千円を助成した。また県的な組織団体であるJA長野県青年部協議会、長野県農業士協会及びPALネットながの3団体に対して2,100千円を助成した。

(6) 農業高校生の研究活動助成

農業関係学科設置の高等学校生徒が行う農業経営や生産技術に関する研究活動に要する経費として、12高等学校に対して1,200千円を助成した。

2 自主事業

(1) 魅力ある農業・農村の広報活動

農業の活力ある姿や農村の魅力を広くPRするため、当基金ホームページ等で相談会、農業求人情報等を掲載し周知した。また、長野県就農支援情報WEBサイト「デジタル農活信州」と連携した情報発信や、当サイトの内容充実及びPRを実施した。

就農相談の手引書「農活 in 信州」を県の協力のもと全面改訂し配布した。

(2) 新規就農相談活動

長野県新規就農相談センター（長野県農業担い手育成基金・長野県農業会議・長野県農業開発公社）として、長野県と連携し新規就農相談会を 51 回実施し、年間相談者数は 290 人・組となった。就農相談員を 1 名増員してオンラインの就農相談会を大幅に増やし、「信州就農 Web 相談会」を 30 回開催した。「長野県市町村・JA 合同就農相談会」は 9 月に東京を会場として開催したが、前年度同様出展者はすべてオンライン参加となった。21 の市町村・JA・団体が出展し 49 人・組の来場者があった。コロナ禍によりイベント来場者は伸び悩んでいるが、相談内容の充実やフォローアップの強化を図ることができた。

(3) 無料職業紹介事業

無料職業紹介事業を通じて、求職者に対して農業法人・農家への就業の紹介・斡旋を行った。1 月に長野市で開催予定であった「長野県農業法人等就業フェア」は新型コロナウイルスの蔓延状況を考慮し中止とした。求人情報を受け付けた農業法人・農業者は 56 経営体、相談者の中で農業法人等へ就業した人は 18 人となった。

3 就農支援資金貸付事業

青年就農促進法が廃止されたことに伴い、資金の貸付は廃止となったが、既貸付金の回収保全に努めた。

4 その他の活動

(1) 全国新規就農相談センターや JA 長野県農業労働力支援センター等と連携し、情報交換や情報発信を積極的に行った。

(2) 主な助成事業利用者や無料職業紹介事業での就業者の状況把握を行い、活動状況や定着状況を確認した。また、農業研修生を対象に過去の相談状況等について調査し、相談活動の課題把握に努めた。

(3) 「農業労働力確保緊急支援事業」において、説明会 2 回、21 経営体・延べ 114 件の代行申請、延べ 110 件の相談対応を行った。

III 会議等の開催状況

| 会議名 | | 議題及び内容 |
|-------------|-------------------|---|
| 総 会 | 定時総会 (3.6.16) | ①令和 2 年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 附属明細書・財産目録の承認について ②役員を選任について ③令和 3 年度収支予算書について |
| | 臨時総会 (4.3.25) | ①令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ②令和 3 年度事業報告概要及び収支決算見込について |
| 理 事 会 | 第 1 回 (3.5.21) | ①令和 3 年度定時総会の開催について ②令和 2 年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 附属明細書・財産目録の承認について ③役員及び運営委員の選任について ④令和 3 年度収支予算書について ⑤理事長及び専務理事の職務執行状況について |

| | | |
|-----------------------|-----------------------------|--|
| (続き) 理 事 会 | 第 2 回 (3.6.16) | ①理事長、副理事長及び専務理事の選定について |
| | 第 3 回 (3.8.6) (書面議決) | ①事務局長の承認について |
| | 第 4 回 (4.2.25) | ①令和 3 年度臨時総会の開催について ②令和 4 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ③令和 3 年度事業報告概要及び収支決算見込について ④「業務細則」の改正について ⑤理事長及び専務理事の職務執行状況について |
| 運 営 委 員 会 | 第 1 回 (3.5.11) | ①令和 2 年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 並びにこれらの附属明細書について ②役員の変更について ③令和 3 年度「農業青年の組織活動に対する助成」について ④令和 3 年度収支予算書 (正味財産増減計算書) について |
| | 第 2 回 (4.2.14) | ①「業務細則」の一部改正 (案) について ②令和 4 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ③令和 3 年度事業報告概要及び収支決算見込について ④令和 3 年度助成事業の審査結果等について |
| 事 務 局 会 議 | 第 1 回 (3.5.11) | ①令和 2 年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 並びにこれらの附属明細書について ②役員の変更について ③令和 3 年度「農業青年の組織活動に対する助成」について ④基金助成金の第 1 回審査について ⑤令和 3 年度収支予算書 (正味財産増減計算書) について |
| | 第 2 回 (3.8.31) | ①担い手育成基金助成金の第 2 回審査について |
| | 第 3 回 (4.2.14) | ①「業務細則」の一部改正 (案) について ②令和 4 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ③令和 3 年度担い手育成基金助成事業の第 3 回審査について ④令和 3 年度事業報告概要及び収支決算見込について |
| 監 査 | 監事監査 (4.4.21) | 会計処理規程第 30 条に定める監査 |

IV 内部監査

基金会計について、農業担い手育成基金内部監査規程に基づく内部監査を令和 4 年 4 月 19 日に受けました。